

令和 8 年度 第 1 回 筑後川水系渇水調整連絡会 幹事会

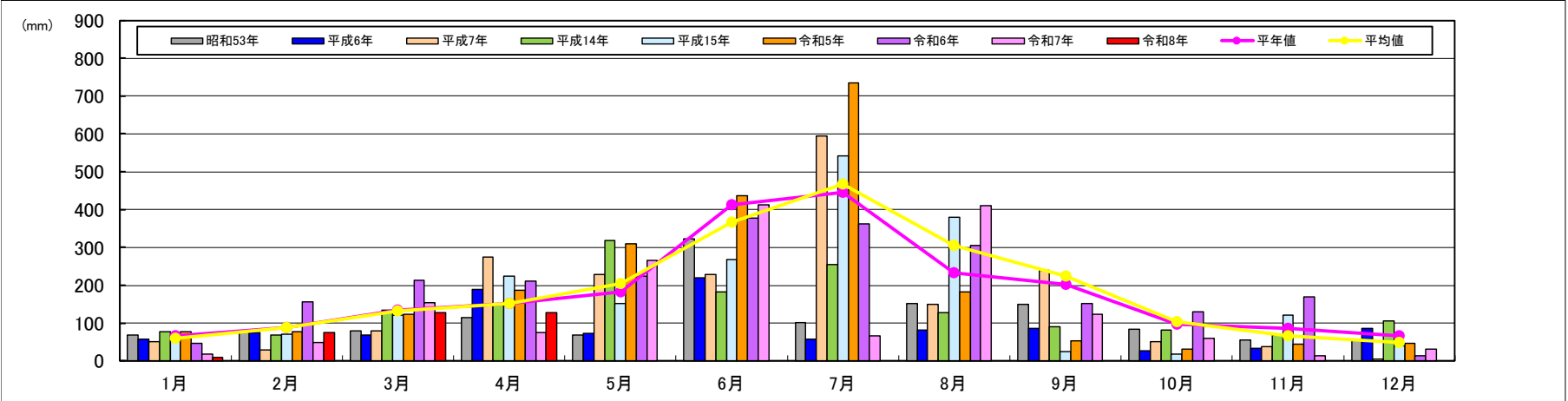
# 筑後川の水状況について

---

令和 8 年 4 月 2 3 日  
筑後川水系渇水調整連絡会  
事務局

# 筑後川(瀬ノ下上流域)平均月別雨量図

○ 筑後川の流域では例年でない少雨傾向にあり、特に、令和7年10月から令和8年2月までの合計雨量は189.9mm（平年比46%）と、江川ダムが管理開始された昭和50年以降で同時期の合計雨量は過去最少となっている。



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	87.9	134.7	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4	2,164.8
平均値	60.6	88.5	131.4	152.6	205.1	367.4	468.1	305.0	223.1	103.7	65.5	49.8	2,220.7
昭和53年	68.0	76.9	78.9	115.1	68.2	323.2	102.0	152.3	150.1	84.0	55.6	57.4	1,331.7
(平年比)	102.8%	87.5%	58.6%	75.3%	37.6%	78.4%	22.9%	65.5%	74.6%	85.7%	64.2%	87.7%	61.5%
平成6年	56.6	75.4	68.5	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.8%	50.8%	123.4%	40.1%	53.4%	13.1%	35.3%	42.8%	26.8%	39.6%	130.6%	48.7%
平成7年	51.5	28.7	79.3	273.9	228.6	227.4	594.8	150.5	238.9	52.1	38.3	5.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	32.6%	58.9%	179.2%	126.0%	55.1%	133.6%	64.7%	118.7%	53.1%	44.2%	8.7%	91.0%
平成14年	77.6	68.7	133.6	150.7	319.0	182.8	254.4	128.0	89.6	81.9	69.5	104.8	1,660.6
(平年比)	117.3%	78.1%	99.2%	98.6%	175.8%	44.3%	57.2%	55.0%	44.5%	83.5%	80.2%	160.1%	76.7%
平成15年	52.4	70.0	121.0	225.0	152.0	269.0	541.0	380.0	25.0	18.0	122.0	40.0	2,015.5
(平年比)	79.2%	79.6%	89.8%	147.2%	83.8%	65.2%	121.5%	163.4%	12.4%	18.4%	140.8%	61.1%	93.1%
令和5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	2,304.5
(平年比)	118.5%	87.6%	91.8%	122.4%	171.0%	105.8%	165.2%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.7%	106.5%
令和6年	46.1	156.6	213.4	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.4	14.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	178.1%	158.4%	138.7%	123.0%	91.3%	81.4%	130.9%	75.3%	131.8%	194.4%	22.3%	109.0%
令和7年	18.1	48.6	154.0	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	1,679.4
(平年比)	27.4%	55.3%	114.3%	49.2%	146.9%	99.9%	15.0%	176.1%	61.3%	60.5%	16.7%	47.8%	77.6%
令和8年	8.7	76.1	127.2	128.1									340.1
(平年比)	13.2%	86.6%	94.4%	83.8%									15.7%

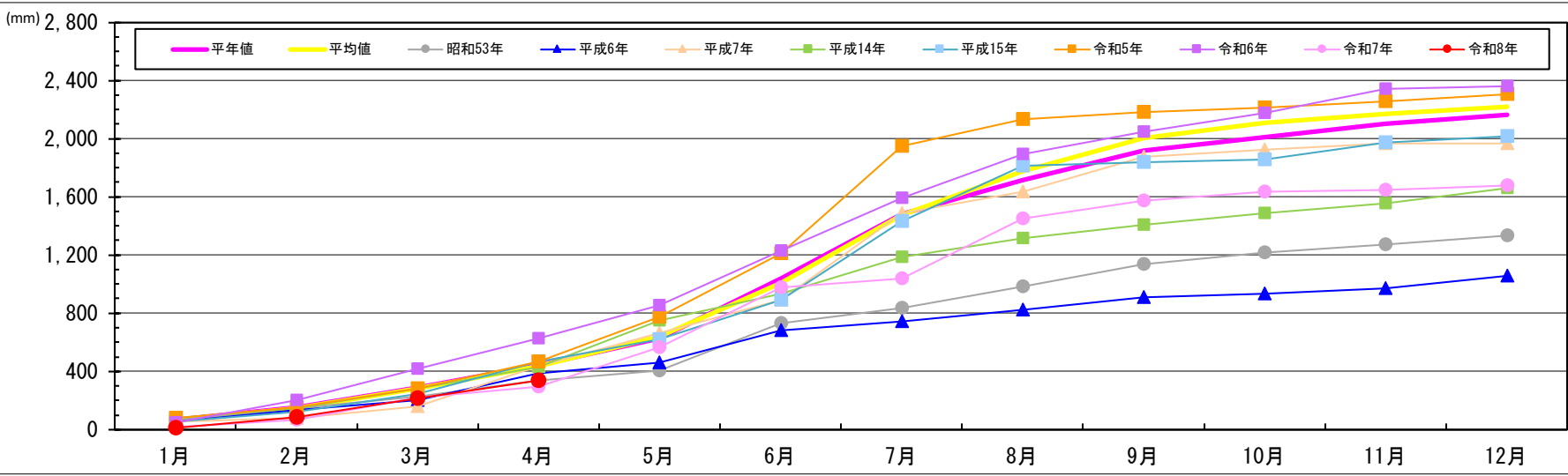
単位:ミリ

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2016～2025(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

# 筑後川(瀬ノ下上流域)平均累加雨量図



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	154.1	288.8	441.7	623.1	1,035.6	1,480.7	1,713.3	1,914.7	2,012.7	2,099.3	2,164.8	2,164.8
平均値	60.6	149.1	280.5	433.1	638.1	1,005.5	1,473.6	1,778.6	2,001.7	2,105.4	2,170.9	2,220.7	2,220.7
昭和53年	68.0	144.9	223.8	338.9	407.1	730.3	832.3	984.6	1,134.7	1,218.7	1,274.3	1,331.7	1,331.7
(平年比)	102.8%	94.1%	77.5%	76.7%	65.3%	70.5%	56.2%	57.5%	59.3%	60.6%	60.7%	61.5%	61.5%
平成6年	56.6	132.0	200.5	389.2	462.0	682.3	740.6	822.7	908.9	935.2	969.5	1,055.0	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.7%	69.4%	88.1%	74.1%	65.9%	50.0%	48.0%	47.5%	46.5%	46.2%	48.7%	48.7%
平成7年	51.5	80.2	159.5	433.4	662.0	889.4	1,484.2	1,634.7	1,873.6	1,925.7	1,964.0	1,969.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	52.1%	55.2%	98.1%	106.2%	85.9%	100.2%	95.4%	97.9%	95.7%	93.6%	91.0%	91.0%
平成14年	77.6	146.3	279.9	430.6	749.6	932.4	1,186.8	1,314.8	1,404.4	1,486.3	1,555.8	1,660.6	1,660.6
(平年比)	117.3%	95.0%	96.9%	97.5%	120.3%	90.0%	80.1%	76.7%	73.3%	73.8%	74.1%	76.7%	76.7%
平成15年	52.4	122.4	243.4	468.4	620.4	889.4	1,430.4	1,810.4	1,835.4	1,853.4	1,975.4	2,015.4	2,015.4
(平年比)	79.2%	79.4%	84.3%	106.1%	99.6%	85.9%	96.6%	105.7%	95.9%	92.1%	94.1%	93.1%	93.1%
令和5年	78.4	155.4	279.1	466.2	776.5	1,212.9	1,948.2	2,130.5	2,183.8	2,214.4	2,258.2	2,304.5	2,304.5
(平年比)	118.5%	100.9%	96.6%	105.6%	124.6%	117.1%	131.6%	124.3%	114.1%	110.0%	107.6%	106.5%	106.5%
令和6年	46.1	202.7	416.1	628.1	851.3	1,228.0	1,590.3	1,894.8	2,046.4	2,175.6	2,344.0	2,358.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	131.6%	144.1%	142.2%	136.6%	118.6%	107.4%	110.6%	106.9%	108.1%	111.7%	109.0%	109.0%
令和7年	18.1	66.7	220.7	295.9	562.5	974.5	1,041.2	1,450.8	1,574.3	1,633.6	1,648.1	1,679.4	1,679.4
(平年比)	27.4%	43.3%	76.4%	67.0%	90.3%	94.1%	70.3%	84.7%	82.2%	81.2%	78.5%	77.6%	77.6%
令和8年	8.7	84.8	212.0	340.1									340.1
(平年比)	13.2%	55.0%	73.4%	77.0%									15.7%

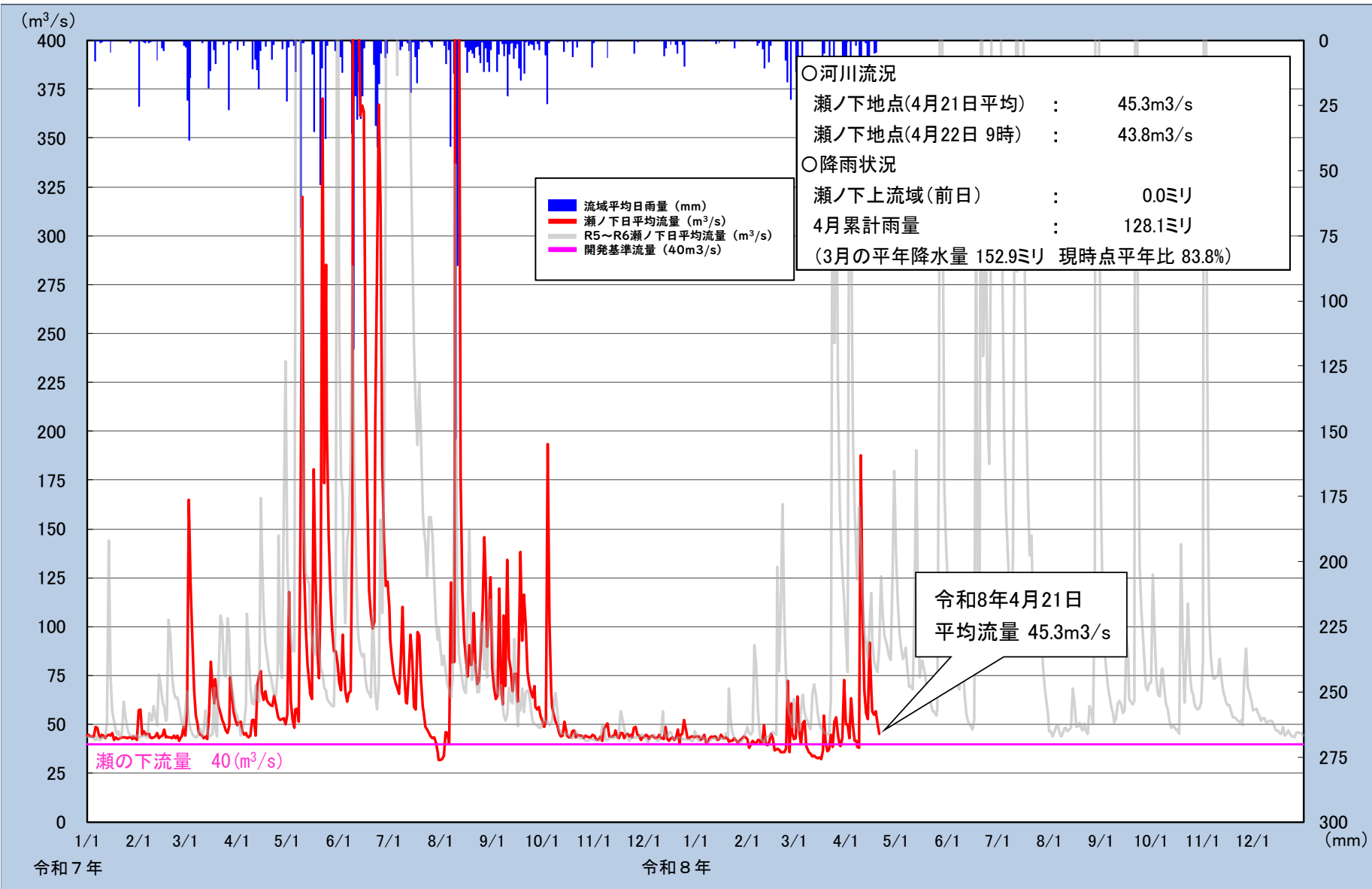
単位:ミリ

※平年値は、1991~2020年(30年間)の平均値

平均値は2016~2025(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

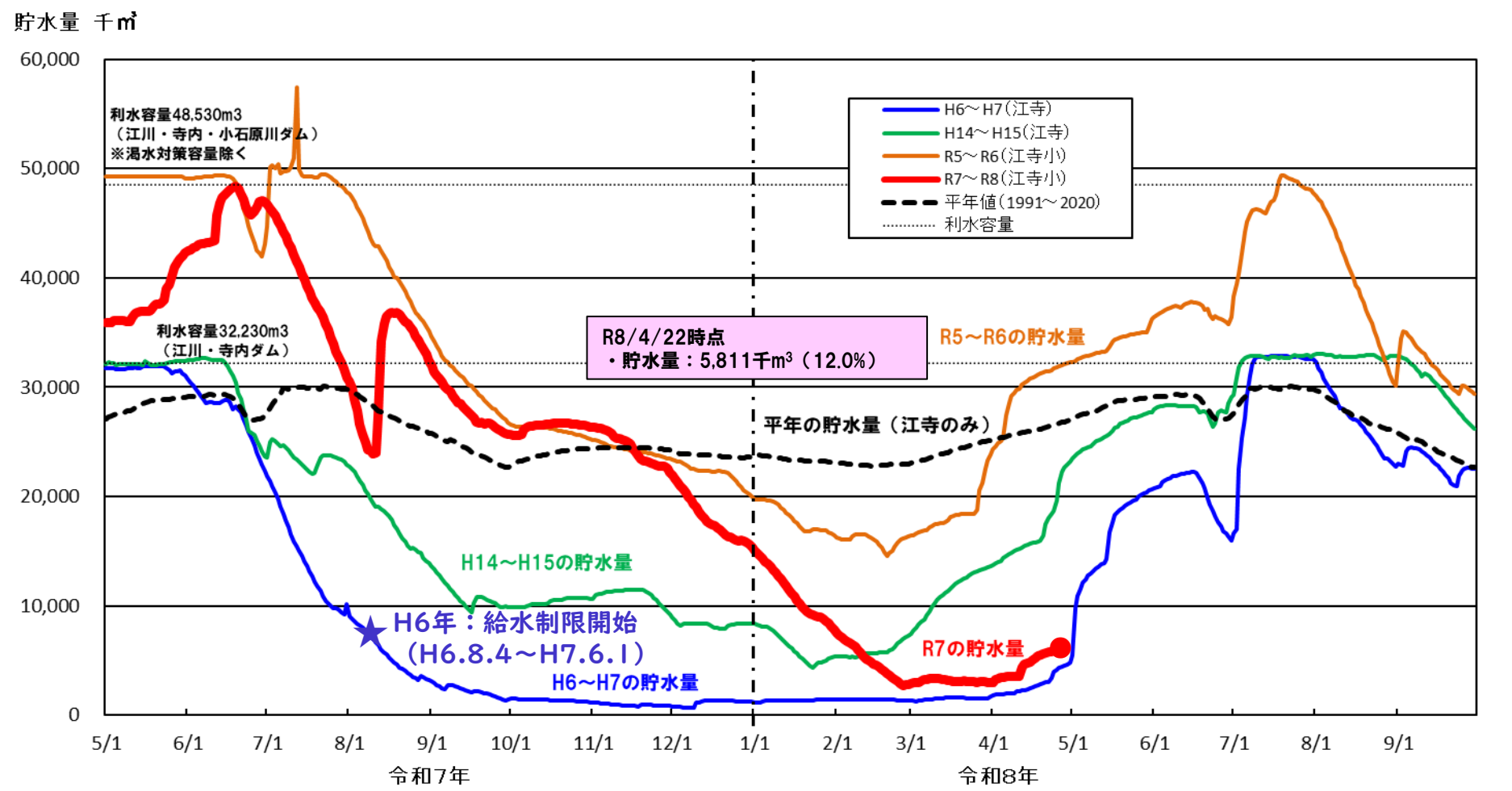
# 瀬ノ下日平均流量・瀬ノ下上流域平均雨量（速報値）



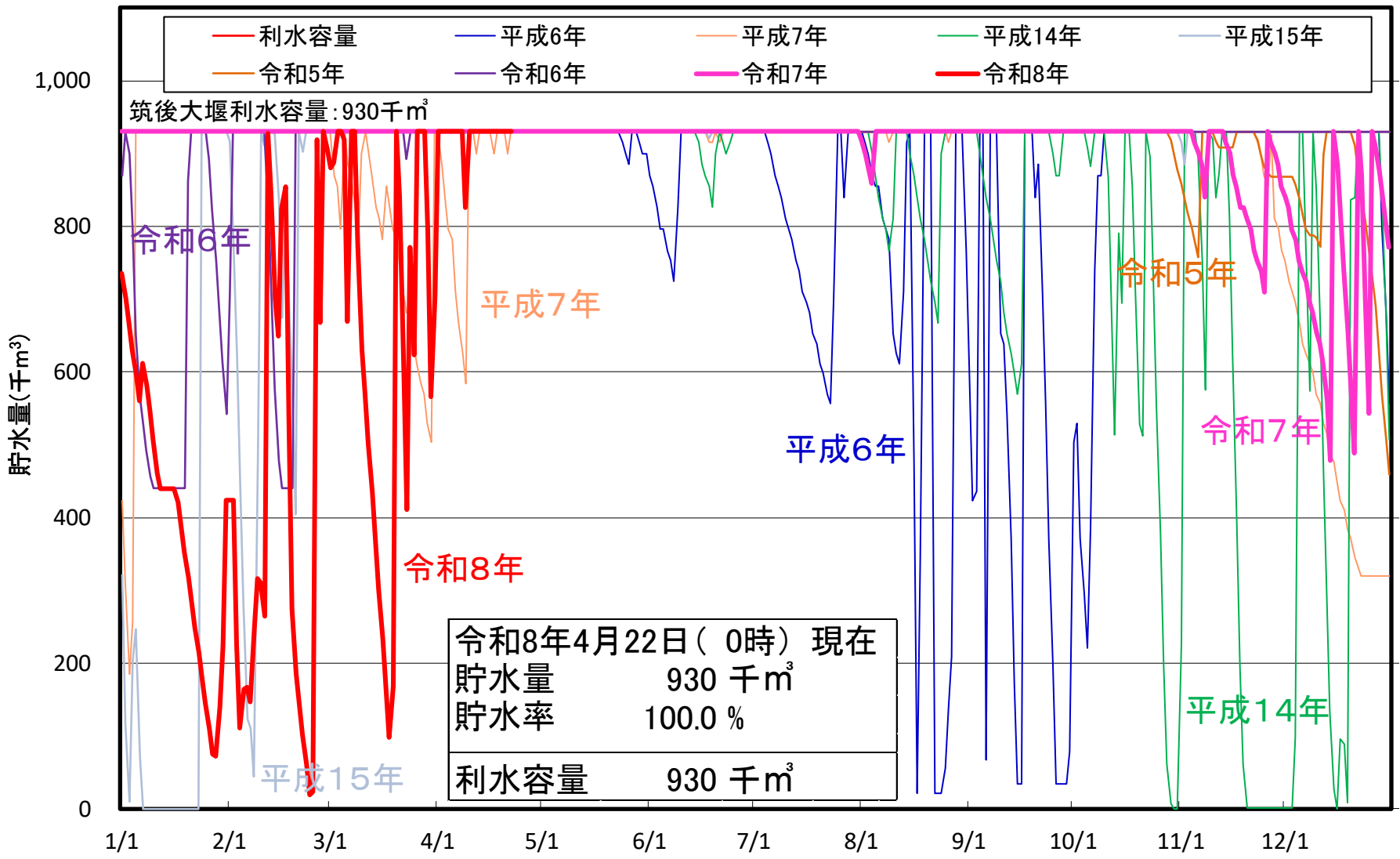
※筑後大堰直下で40m<sup>3</sup>/sを確保するよう運用(1/27~2/17)

# 筑後川の水源の状況①

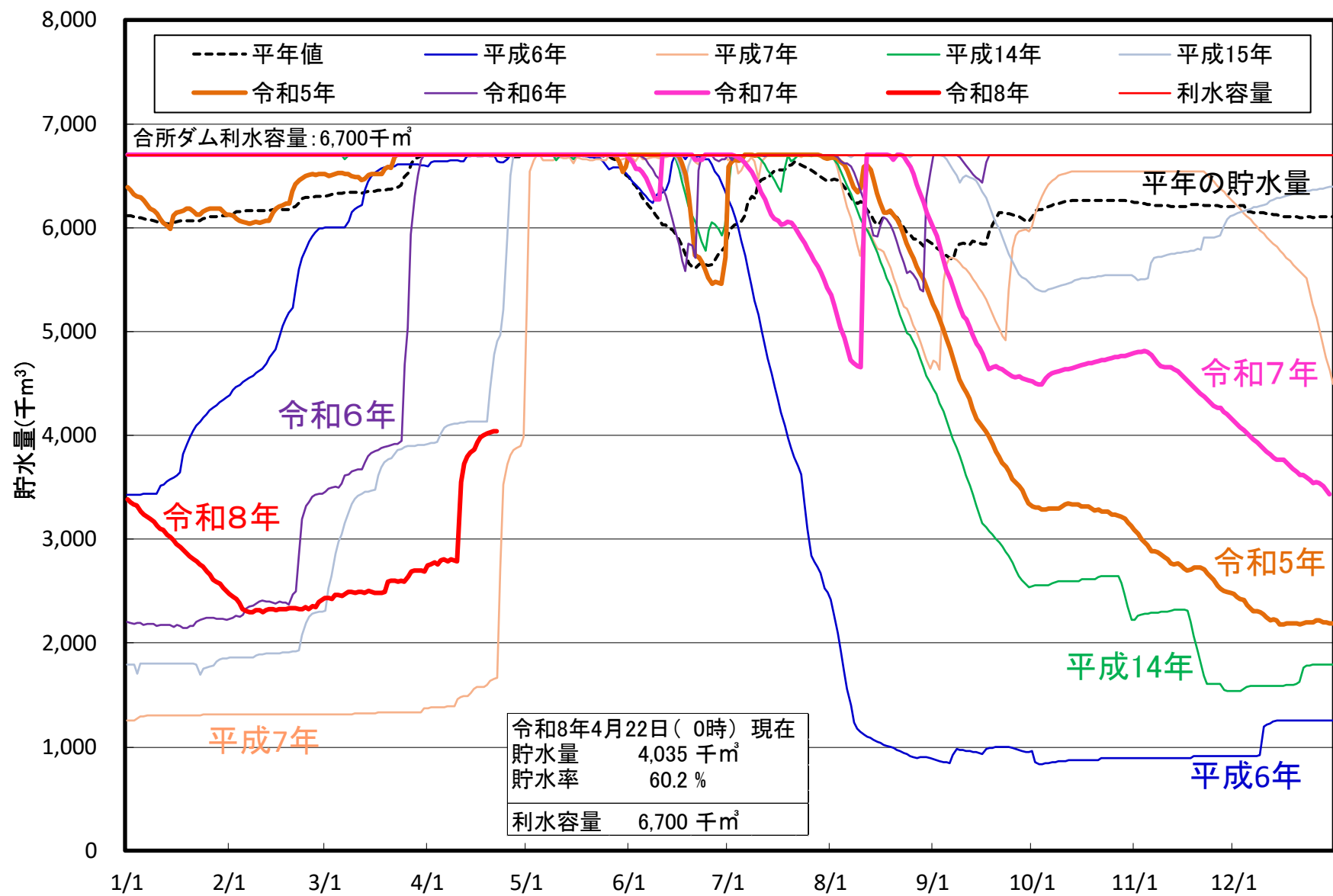
- 筑後川の流況は減少傾向。都市用水等の利用のため、ダムから断続的に補給。
- 同時期の朝倉3ダムの貯水率は、過去最低。（小石原川ダム運用開始後）
- 朝倉3ダムをはじめ、筑後川水系6施設は今後まとまった降雨がなければ貯水量が減少することを想定。



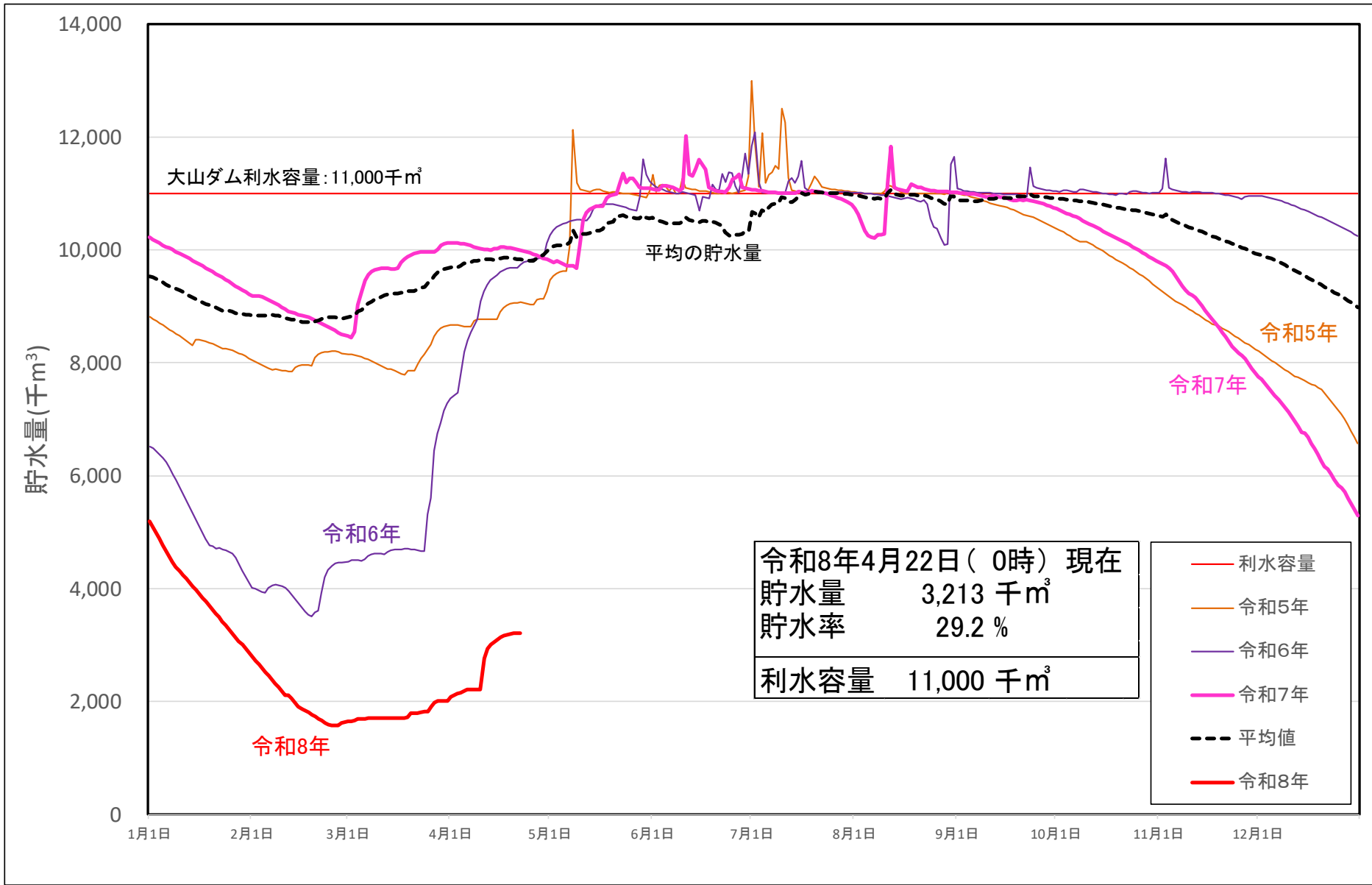
# 筑後大堰貯水量



# 合所ダム貯水量

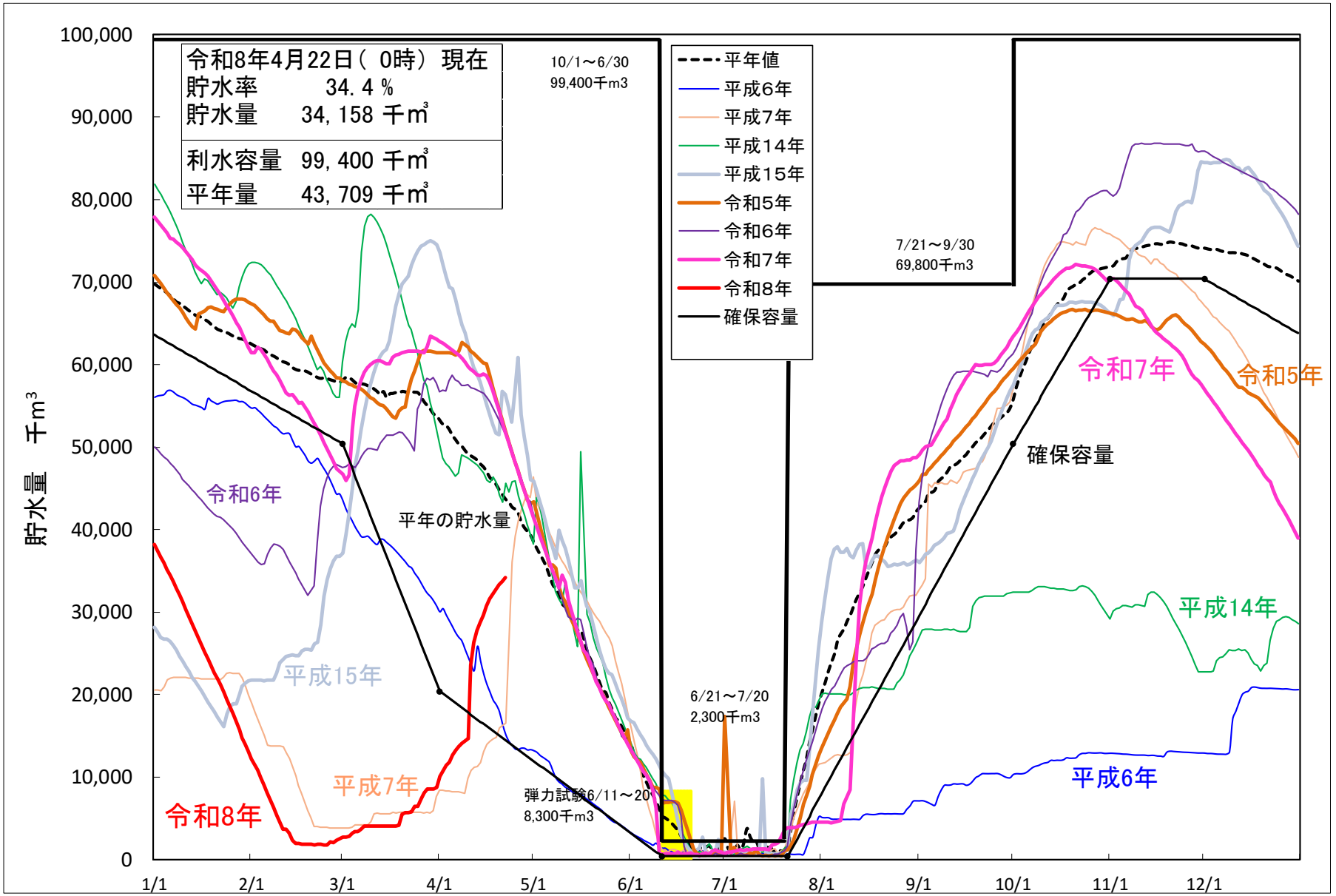


# 大山ダム貯水量



※平均の貯水量は、10か年 (H28~R7) の平均の値

# 松原・下笠ダム貯水量経年変化図

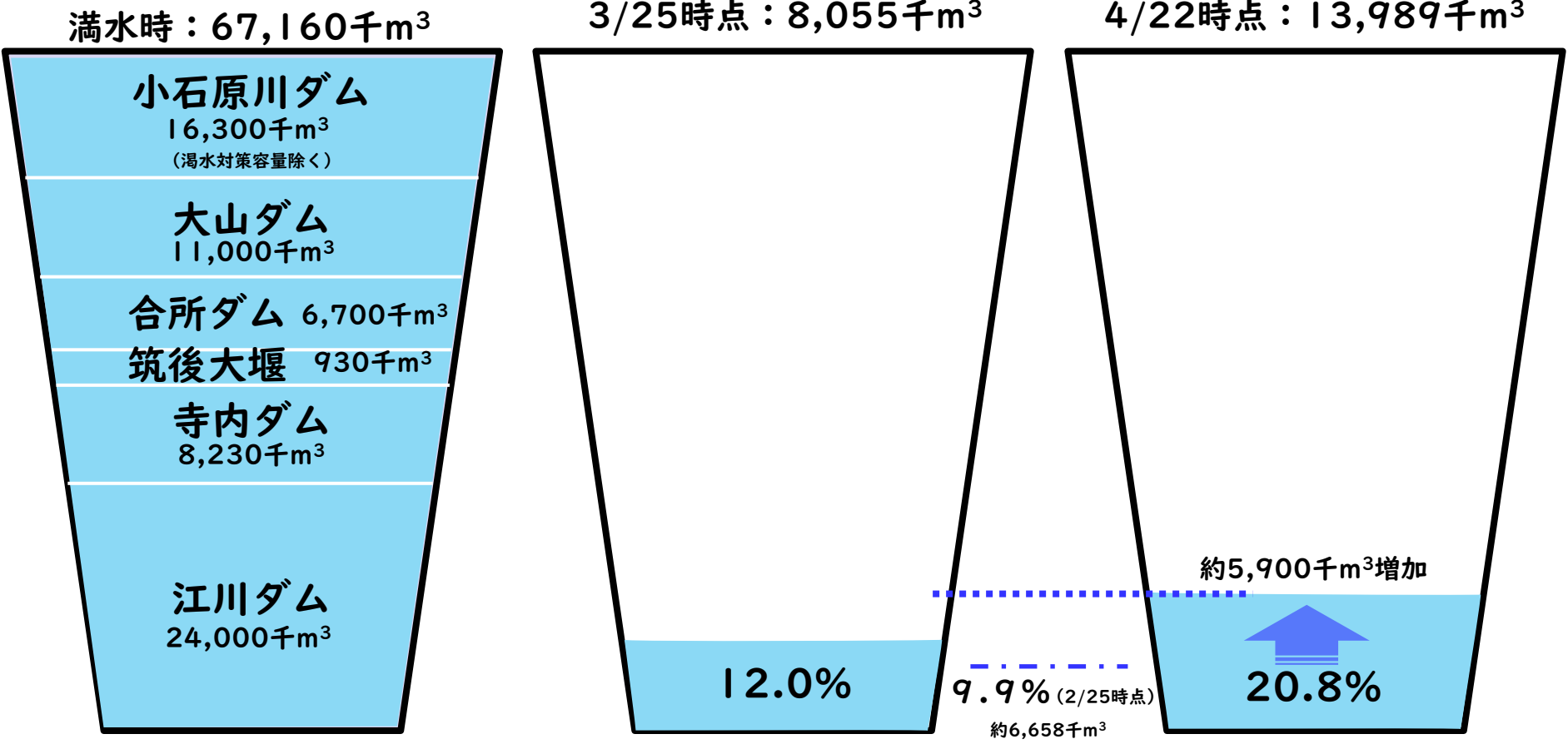


※平年値は、1991~2020年(30年間)の平均値

# 筑後川の水源の状況②

- ダムの完成や渇水調整などにより、平成6年渇水以降は断水など市民生活・社会経済活動への影響は回避。（直近の冬季渇水は令和5年度）
- 筑後川主要6ダム合計貯水量は、令和7年10月から令和8年2月までの5ヶ月の少雨により満水時に対し10%を下回り、その水量は寺内ダムの貯留可能量以下まで減少。
- 後述する今後の天候や流域の水源地状況からも、更なる渇水調整の必要性を検討中。

令和7年度第8回渇水調整連絡会幹事会 3/25時点：8,055千m<sup>3</sup>      令和8年度第1回渇水調整連絡会幹事会前日 4/22時点：13,989千m<sup>3</sup>



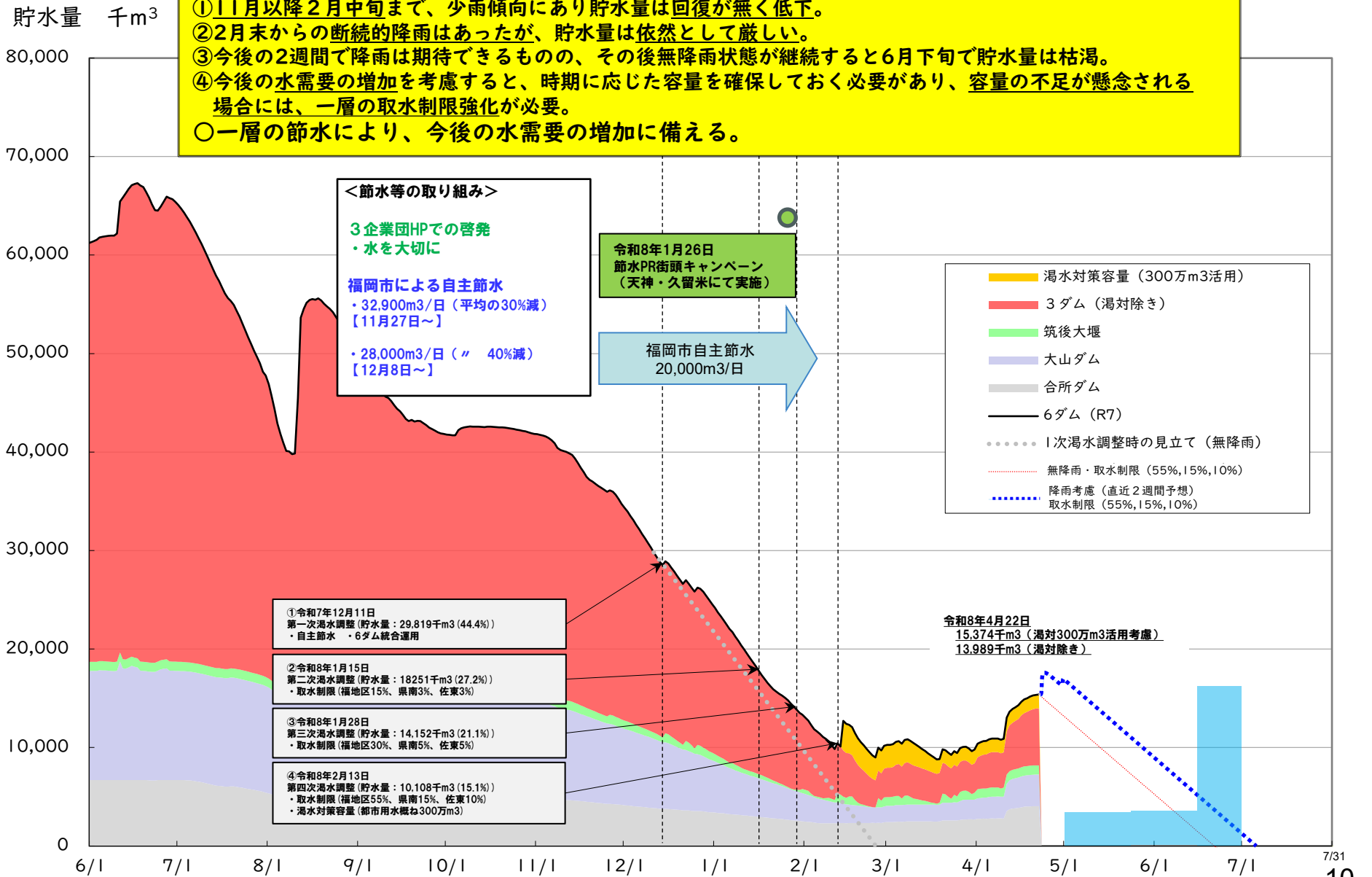
# 6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量変化図

R8.4.22時点

**【これまでの経過と今後の進め方】**

- ①11月以降2月中旬まで、少雨傾向にあり貯水量は回復が無く低下。
- ②2月末からの断続的降雨はあったが、貯水量は依然として厳しい。
- ③今後の2週間で降雨は期待できるものの、その後無降雨状態が継続すると6月下旬で貯水量は枯渇。
- ④今後の水需要の増加を考慮すると、時期に応じた容量を確保しておく必要があり、**容量の不足が懸念される場合には、一層の取水制限強化が必要。**

○一層の節水により、今後の水需要の増加に備える。



# 今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区気象台予報より）

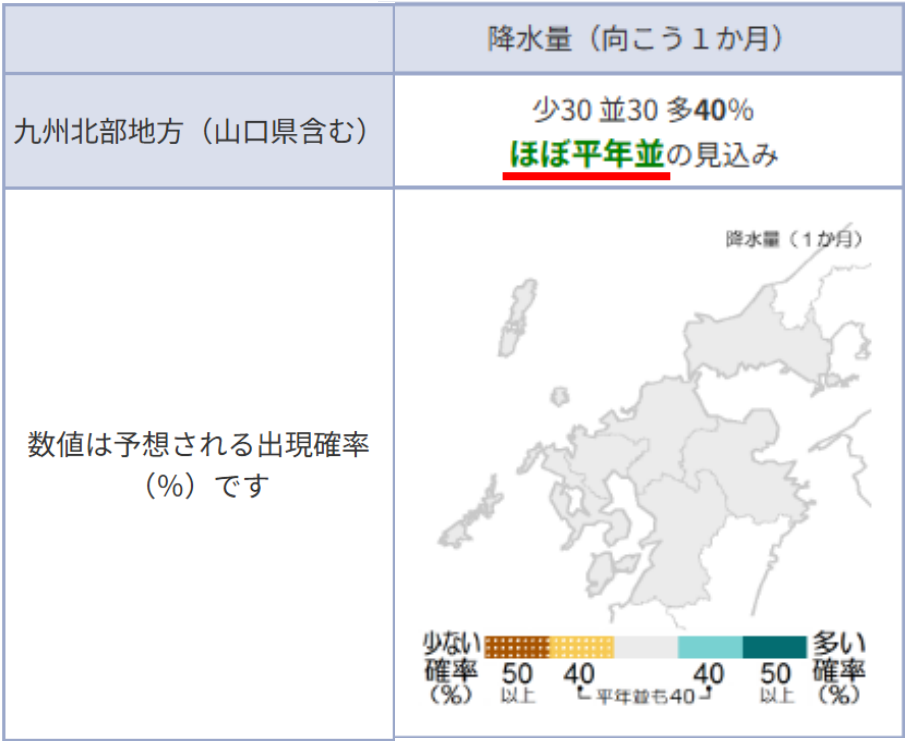
## ■向こう1か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（4/18～5/17）

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 昨年10月中旬から2月中旬までの少雨の影響が解消されていない所があります。向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込みですが、これまでの少雨の影響が残る可能性があります。

### 向こう1か月の天候

- 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。



## ■向こう3か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（4月～6月）

